

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉令和3年2月19日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿		
地域の福祉を促進するために、福祉事業の拡充やサービスレベルの向上を図り、また地域生活の課題解決にも積極的に対応することを目的とします。いつまでも幸せに暮らせる地域の未来に向けて微力ながら貢献したいと考えています。		
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動		
当法人は「共生（ともいき）」を理念としています。「共生」は、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に理解し合い、支え合い、尊重し合い、地域社会の中でよりよく生きていこうという考えです。その理念のもと、私たちは「障害を持つ方々の自立としあわせ」を目指しています。		
目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	2022年3月31日までの取組目標
	障害の重度化を防ぐためには、従来から取り組んでいる障害者支援に加えて、児童期の療育が重要であるという認識のもと、児童期の障害児支援の分野へ進出した。児童期から成人時までの継続した支援を目指している。	放課後等デイサービスでの障害児本人への支援の他、保護者への支援も拡充させる。ペアレントトレーニングの継続実施と専門家による相談窓口の設置を行ない、より多くの方々を支援していく。
	地域の方々や施設職員を対象とした福祉講演会を定期的開催し、広く障害者福祉についての理解をいただくよう活動している。また、静岡市の「強度行動障がい者支援施設等サポート事業」に、4年前より参加し、障害を抱える方の自立と質の高い生活作りに向けて取り組んでいる。	法人内外の研修をさらに充実させるとともに、講演会や勉強会の対象者を広げ、広く福祉に関しての教育の機会を増やすことを目指す。
	宍原荘の全館LED化を実施することによって省エネを推進した。	LED化に加え、日々の管理の強化により、さらに省エネを推進する。
	働きやすい環境の整備を目標として、法人の各規程や制度の改訂や介護保険制度の理解の促進や相談窓口設置を行なった。また、福利厚生の実施も図っている。	さらに働きやすく、働く意欲を持てる環境を整備していく。
	ご利用者と職員による地域での清掃奉仕活動を各施設で定期的実施している。	地域の困りごとへの対応として、高齢の方を対象として、家庭の除草作業や買い物支援を地域貢献の一環として新たに実施する。

（記載上の注意）

- 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 目標はなるべく定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

事業所・団体等又は関連事業者等の名称	社会福祉法人 玉柏会 (本社が届け出る場合はその事業所の数 7)	
業種	12. 医療、福祉	
代表者 職・氏名	職名	理事長
	氏名	海野 和雄
所在地	〒424-0301 静岡県清水区宍原362	
URL	https://tamagashikai.com	
従業員（構成員）数	男性 37 人	女性 45 人 計 82 人